

北九州

6/1

2018
平成30年

No.1315



市政だより

市政・生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター

☎671-8181 年中無休
8時～21時

FAX. 671-0088

主な内容

特集 防災(風水害) 12
トピックス「危険な『崖』などは早めに対策を」など 34
まちがいファイブ 5

*最終ページは若松区の情報と人口データ

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

編集・発行 北九州市広報室広報課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 ☎582-2236



早めの避難と日頃の備え

平成29年7月 東峰村で発生した土石流被害

特集 防災(風水害)

昨年7月5日から6日にかけて発生した平成29年7月九州北部豪雨は、福岡県朝倉市や東峰村を中心とした土石流や河川の氾濫により、多くの犠牲者を出す甚大な災害となりました。

本市でも、続く7日未明から昼にかけて集中豪雨に見舞われ、気象庁が設置する八幡観測所(八幡西区鷹の巣)では、午前6時30分までの3時間降水量が138.5mmと、観測史上1位を記録しました。

雨で数十メートル先が見えないほど視界は悪く、雨音で周りの音も聞こえないような集中豪雨で、この雨があと2時間程度続けば、大災害が発生してもおかしくないような危険な状況でした。

土砂災害特別警戒区域や河川の周辺など、避難勧告や避難指示(緊急)が発表された地域は全区におよび、避難勧告の対象者数は約6万7千人に上りました。

市内では崖崩れが120件、住宅の損壊が32棟、浸水被害が51棟と大きな被害が出ています。

自然災害が少ないと言われる本市ですが、昭和28年6月には旧5市全体で死者・行方不明者183人を出す「北九州大水害」が発生しています。

災害は「まさか」ではなく「いつか」起きるものという心構えで、日頃からの備えを忘れないようにしておきましょう。

2ページでは
早めの避難と日頃の備えに
ついて紹介します

